

# 7つの宣言

2026年6月7日

ヨハネの黙示録 14章1～20節

序：大患難期の中間期に発せられた7つの宣言  
それまでになされたこと  
今その渦中にあること  
これから、後半期かそれ以降に起こること

## I. 宣言の目的

- (1)偽の三位一体（サタン・反キリスト・偽預言者）の目的（ユダヤ人全滅）は失敗  
竜 海からの獣 地からの獣
- (2)15～16章の鉢のさばきの結果の宣言
- (3)大患難期後半（非常に厳しい苦難）に生きる聖徒たちへの励まし

## II. 第一の宣言 シオンの山上に立つ144000人の贖われた者 1～5節

- (1)小羊とともにシオンの山に立っている
- (2)彼らは神の所有：額に小羊の名と父なる神の名のしるし
- (3)新しい歌を歌う（御座の前、4つの生き物、長老たちの前で）
- (4)5つの特徴
  - ①童貞（結婚・子孫なし）
  - ②主への純潔を保って、主に従いついて行く
  - ③初穂（後に続く大勢の信仰者の最初）：大患難時代の初め・中間・終わり
  - ④内面に汚れ・偽りが無い
  - ⑤外面に偽り・傷が無い

サタンの計画（ユダヤ人撲滅）は失敗する予告  
ユダヤ人のうち残りの民（信じたユダヤ人の一部）は殺されず、千年王国へ突入

## III. 第二の宣言 永遠の福音の告知 6～7節

- (1)中天を飛ぶ御使いが携えていた
- (2)全世界の人々に、あらゆる言語であまねく宣べ伝えられる（再度そして最後）
- (3)神（すべてのものの創造者）を畏れ、崇めよ ∴さばきの時が来たから

キリストか反キリストか、どちらを選ぶか最後のチャンス

## IV. 第三の宣言 （政治的）バビロンの崩壊 8節 18章に詳細がある 神に敵対し敗北

## V. 第四の宣言 獣の刻印：666 9～12節

- 13章15～16節 反キリストへの礼拝、忠誠  
獣の刻印を受ける＝永遠に反キリストを神とする  
一度受けると二度と救われることはできない

テサロニケⅡ 2・8～12

- (1)鉢のさばきは獣の刻印を受ける者たちに向けられる：神の怒り
- (2)火と硫黄の燃える池で、永遠に昼も夜も際限なく苦しみ続ける
- (3)無知が原因で受けるのではなく、知っていながら拒否したのでさばきを受ける  
∴福音を二度聞いた（by 144000人のユダヤ人、by 御使い）  
二回とも拒絶 サタンの惑わしの業に抵抗しなかった

VI. 第五の宣言 殉教者たち 13節

- (1)主にあって死ぬ死者（信仰のゆえに迫害され、殺される）への特別な祝福
- (2)働きからの解放ではなく、反キリストの要求に抵抗してきた労苦からの解放
- (3)神はそれぞれの仕業に応じて報いを与えてくださる（天での報い）

VII. 第六の宣言 刈り取り：救い（信者） 14～16節

- (1)栄光のキリスト（金の冠、鋭い鎌）が地に鎌を入れる：救い
- (2)御使いが、収穫の時が来ているので、刈り取るよう懇願

刈り取られるのは贖われた人たち 患難期後半でも救いを得る

VIII. 第七の宣言 怒りの大きな酒ぶね：さばき（不信者） 17～20節

- (1)ひとりの御使いが鋭い鎌をもって出て来る
- (2)もう一人の御使いが鎌を入れて、期が熟したぶどうを刈り取るように告げる
- (3)刈り集めたぶどうを大きな酒ぶねに投げ入れた
- (4)酒ぶねは都の外で踏まれた 世界の反キリストの軍隊 VS イエス・キリスト  
ケデロンの谷 ハルマゲドンの結果（20節）  
イザヤ 63・1～6 黙示録 19・13～16

激しい怒りの内容は15～16章

IX. 結び

- (1)小羊イエスに従い仕える者と獣を恐れて従う者との対比  
聖徒たちは神のもの、キリストに属する者、天に帰って行く者  
信仰と忍耐が必要
- (2)その数は144000人（全部ではない、初穂の一握り）、実際にはおびただしい数の聖徒たちがいる ∴孤独ではない
- (3)彼らのほかに誰も学ぶことができない新しい歌を歌う（賛美の特権、賛美の力）  
神をほめたたえるのは、信仰者にしかできない 御座の前で
- (4)偶像礼拝（霊的姦淫）をしない、偽りや傷のない、小羊から離れず従っていく者とされた（by キリストの贖い、聖霊によるきよめ）
- (5)神の最終的なさばき（信者には救いの完成、栄化／不信者には永遠の苦しみ）が時満ちて下される 機会はいつまでもあるわけではない タイムリミットがある
- (6)聞く耳さえあれば、福音を聞く機会や手段には恵まれている現代だが、私たちが接する未信の家族、親族、友人に機会あるごとに、さまざまな方法で主イエスにある救いを知らせよう（主の働き、聖霊の導きによって）